



CAT21

むし歯予測テスト

...どっちがカワイイですか？...



青

緑

黄緑

黄



0.0

0.5

1.0

1.5

2.0

2.5

3.0

安全域

注意域

危険域

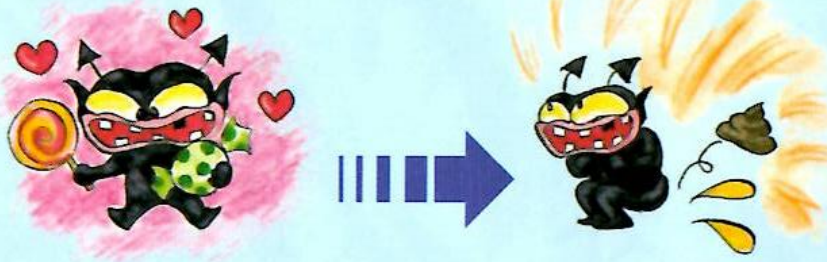
おなまえ:

検査の結果:

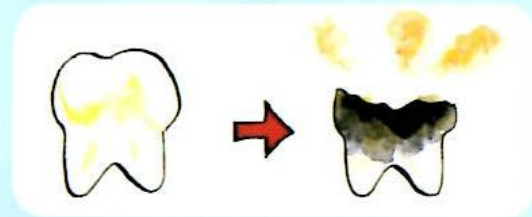


●むし歯はどうしてできるの？

1 口の中に住んでいるむし歯菌は砂糖を食べると歯垢(ウンチ)と酸(オシッコ)を出します。



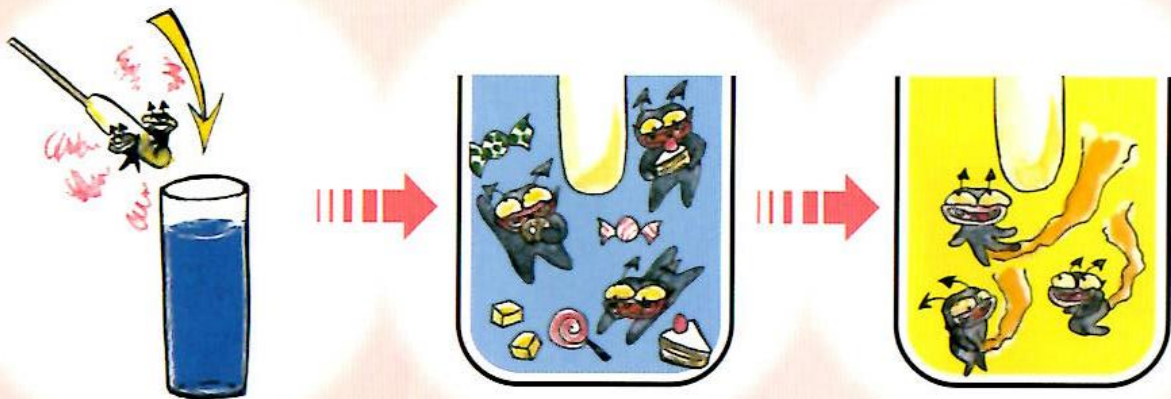
2 歯にへばり付いている歯垢(むし歯菌のウンチ)の下では、むし歯菌の出した酸(むし歯菌のオシッコ)によって歯が溶かされます。これが**むし歯**です。



実は、むし歯菌が作り出す酸のつよさは人によって違います。
酸が強いほどむし歯になりやすいといえます。
この酸のつよさを調べるのがむし歯予測テストです。

●検査のしくみ

歯の表面から綿棒でむし歯菌を取り、試験液の中に入れます。試験液には砂糖が入っていますので、むし歯菌は砂糖をもとに酸を作り出します。つまり口の中で起こるのと同じことを試験液の中で再現します。



試験液は、作られた酸のつよさに応じて色が変わるしくみになっています。つまり、むし歯菌の「**むし歯を作るつよさ**」がわかります。



検査の結果からわかること

..... むし歯菌の「むし歯を作るつよさ」がわかります



むし歯菌がよわい (むし歯になりにくい)

よわいむし歯菌をもつ子どもの特徴

- おやつの回数が少ない
- 規則的におやつを食べる
- 偏食がない
- 生活が規則正しい



むし歯菌がつよい (むし歯になりやすい)

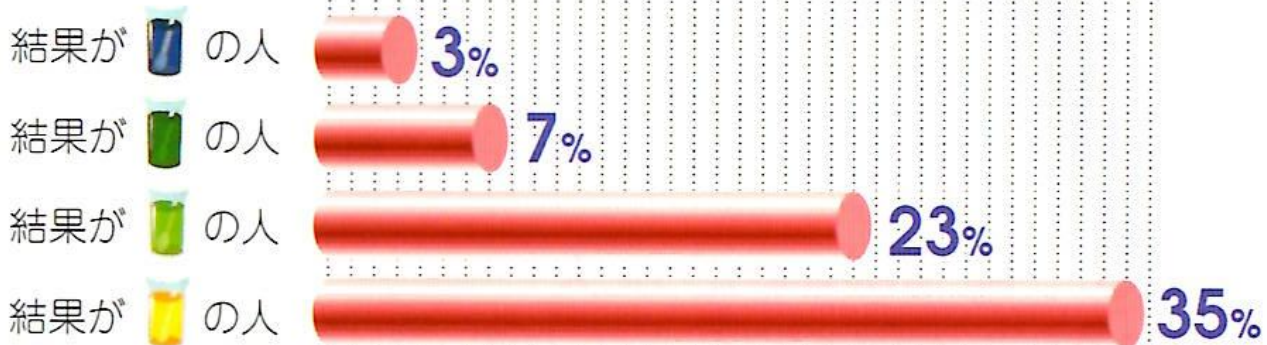
つよいむし歯菌をもつ子どもの特徴

- あまいおやつを食べている
- おやつの回数が多い
- 不規則におやつを食べる
- 哺乳ビンにスポーツ飲料などの清涼飲料水を入れて飲んでいる
- お母さんにむし歯が多い



今回の結果から**将来のむし歯の予測**をすることができます。

●半年後にむし歯ができる確率 (1歳6か月児)



歯医者さんからのメッセージ

1歳6か月のお子さんの歯を見ていますと、汚れがついている子は、甘い物を食べているようです。“三つ子の魂、百まで”の言葉が示すように、小さい時に甘い味を覚えると、生涯甘いもの好きになります。3歳のお誕生日までは、まず甘いものの味を教えないことが重要です。

❖ あなたはお子さんをどのように育てたいですか？

…誰だって健康な子、素直な子に育てて欲しいですね。

3歳児の体重の比較

●むし歯のない子



●むし歯の多い子



早くからむし歯ができてしまった子は、3歳の頃に体重が2kg以上も軽いというショッキングな報告があります。やはりむし歯で食事ができず栄養状態が悪く体の発育に影響するのでしょうか。健康でスクスクと育つためにも、丈夫な歯で食べることが大切なのです。

❖ 検査結果が、 0.0 や 1.0 だった人

今のところはむし歯ができる**可能性は低い**ようです。
この調子でがんばりましょう。

❖ 検査結果が、 2.0 や 3.0 だった人

今のままではむし歯になる**危険度が高い**ようです。
まずむし歯菌を弱くしましょう！
そのためには、むし歯菌に栄養（砂糖）を与えないことです！
前ページの「むし歯菌が弱い子どもの特徴」を参考にしてください。



❖ 検査結果が、 1.5 (注意域) だった人

すこしの努力で良くなりますが、油断すると悪くなりやすいので**注意が必要**です。